

香川から周る！

四国スイーツお遍路 2024～香川編～

代表者 溝渕 静 （農学部応用生物科学科3年）

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、私たちが普段行っている活動である「スイーツ巡検」をより発展させて実施するものである。スイーツ巡検とは、KAGAWA Maker が作った言葉で、スイーツを実際に見て回り、調べるということで「スイーツ」と「巡検」を掛け合わせて私たちが新たに生み出した造語である。香川県内の菓子店の雰囲気や商品の個性を見つけ、それを私たちの SNS 等で発信してきた。香川県内には、多くの魅力的な菓子店があるにもかかわらず、知られていない菓子店が数多くある。そのような菓子店を多くの方々に知っていただく方法として、私たちのスイーツ巡検を発展させて、「スイーツ」×「お遍路」をコンセプトとした「スイーツ遍路」を発案した。

このスイーツ遍路は、全国的に有名な四国霊場 88 カ所札所の近くにある菓子店を順に紹介していくものである。2024 年は 4 年に 1 度の「うるう年」であり、うるう年に逆回りで巡礼すると功德が 3 倍になると言われていることから、香川県内の札所に焦点を当て、新たにスイーツ遍路の道順や菓子店を設定することで、これまでお遍路に興味がなかった人にもスイーツを通じてお遍路の存在を知ってもらうとともに、お遍路をする人にも香川県内の菓子店を知ってもらうきっかけを作ることができる考えた。

今年度は、香川県内にある 66 番札所雲辺寺から 88 番札所大窪寺までの札所のうち、88 番から順に 77 番札所である道隆寺まで取材し、札所と菓子店を紹介する動画や「スイーツお遍路マップ～香川編～」を作成した。

2. 実施期間（実施日）

令和6年7月1日から令和7年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業では、お遍路と菓子店の両方を多くの人に広く知ってもらうために、「スイーツ」と「お遍路」を掛け合わせた「スイーツお遍路」の動画作成とスイーツお遍路マップの作成を実施した。

この事業で得られた成果は主に2つある。

1つめは、地域の方々との交流の場が創出できたことである。動画作成とマップ作成のために菓子店に協力していただき、店舗の外観や内装、商品の撮影、商品のこだわり

などをうかがうことができた。普段行っているスイーツ巡検では、菓子店の方とお話しする機会はあまりないため、実際に作られている菓子店の方だからこそ分かるお店のこだわりを知ることができたとともに、そのこだわりを発信することができた貴重な機会となった。

2つめは、メンバーの動画・写真の撮影経験や編集経験を積むことができたことである。現状の体制では動画作成を経験しているメンバーがおらず、今年度の事業で初の試みとなった。動画の構成案を全員で話し合うなかで、どのような構成やアテレコなら見やすいのかをさまざまな動画を視聴して研究したため、動画について勉強する機会となった。不慣れなことが多く手探りであったが、ひとつのものを作り上げるために全員で協力しあうことができた。今回の動画作成の経験は、メンバーの今後の自信にもなるのではないかと考えている。また、私たちは普段の活動で SNS を活用する場面が多くあるため、これらの経験を積むことで、より見やすい投稿や質の高い投稿に繋げていけるのではないかと感じている。



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、地域住民のみなさんの香川大学や KAGAWA Maker に対する認知度を向上することができたと考えている。今年度は、12ヶ所の寺社とその周辺の菓子店の計 24ヶ所に取材を行ったため、取材の許可を取る際に私たちの活動を知ってもらえるよい機会となった。また、動画投稿ではさまざまな国や年代の人々に視聴してもらえることから、幅広い世代や地域へ知ってもらうきっかけとなった。これらの活動を通じて、香川大学が「地域に根ざした学生中心の大学」であることを PR することができた。

地域社会に与えた影響としては、動画撮影やマップ作成を通じて、お遍路の認知度向上や、寺社や菓子店がある地域の活性化に貢献できたと考えている。お遍路の認知度を向上することによって、歴史ある日本の文化を次世代に継承することができる。また、お遍路をあまり知らない方々でスイーツが好きな方々に興味を持ってもらったり、実際にお遍路をしている方々に菓子店の存在を知ってもらったりすることで、寺社や菓子店に立ち寄っていただくきっかけになり、地域の活性化の一助となったと考えている。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

これまでの活動のなかで、菓子店を取材してマップを作成した経験があったため、今回、新たな要素として、お遍路の動画作成を取り入れた。普段の活動では、私たちは香川県内の菓子店を対象としているため、この事業に取り組む前は、多くのメンバーがお遍路に対する知識がない状態であったが、動画作成を通じてお遍路について調べ、知識を新たに得ることができ、私たちの地域理解へと繋がったと感じている。また、各取材先で観光客や寺社の関係者に話しかけていただいたり、菓子店の関係者と親しくなったりと、地域の方々と交流を深めることができた。今回の活動によって、これまで以上に地域とのつながりが構築できたと感じている。

動画構成についてメンバーで話し合ったり、取材の許可を取ったりするなかで、私たちのコミュニケーション能力やビジネスマナーを養うことができた。取材を通じて直接菓子店の関係者とお話することで、地域との繋がりを感じ、活動のモチベーションや喜びとなり、成長することができた。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

このプロジェクト事業の反省点として、予定していたスケジュールよりも進捗が大幅に遅れたことである。動画の撮影や編集を経験したことがあるメンバーがおらず、不慣れな活動が多かったため、想定以上に時間がかかってしまった。動画の撮影や編集のスキル以外にも、スケジュールが遅れた主な理由は2つある。

1つめは、決定事項が予想以上に多く、その話し合いに時間がかかりすぎたことである。動画を投稿するにあたって、タイトルやハッシュタグ、BGM、動画の構成など、動画作成前に決めておかなければならない事項が明らかとなった。そのため、事業申請の段階で事前に決めておけばスムーズに活動ができたのではないかと反省している。また、取材後には動画やマップの確認および修正などを行う必要があったため、普段行っている週1回のミーティングでは時間が足りなかった。そのため、話し合う機会を通常より増やすべきだった。さらに、店舗から取材を断られ、新たに別の候補となる店舗を決定し、取材の許可を取らなければならないという事態が度々発生したため、想定外のことが起こる可能性も加味したうえで、取材先を選択する必要があった。

2つめは、役割分担が上手くいかなかったことである。今回はメンバーを3班に分けて、それぞれが取材担当と編集担当の役割を担った。その結果、班によって進捗の差が開いてしまった。そのため、今後は役割分担の際にあらかじめメンバーへ希望を聞き、取材時の動画出演等を行うメンバーと、編集や撮影といった裏方を行うメンバーに分けて各班へ均等に割り振ったり、進捗状況がすぐ確認できるよう各班に責任者を配置したりと工夫することで、進捗の差が大きく開かないよう対策したい。今後は進捗の遅れを考慮した余裕のある年間スケジュールの設定を行いたい。

7. 実施メンバー

代表者	溝渕 静	(農学部3年)		
構成員	堀田 夏未	(法学部3年)	山本 彩香	(経済学部4年)
	静川 綾乃	(農学部4年)	佐々木 文萌	(教育学部4年)
	岩本 梨	(農学部3年)	水谷 千穂	(農学部3年)
	石田 紗愛	(経済学部3年)	田村 萌乃華	(経済学部3年)
	松井 茉凜音	(経済学部3年)	奈川 穂乃花	(農学部2年)
	西井 華乃	(農学部2年)	丸子 ひとみ	(農学部2年)
	秋山 真白	(教育学部2年)	穂木 慎也	(創造工学部2年)
	堀江 青玄	(創造工学部2年)	西平 せいか	(法学部2年)
	末本 玲奈	(経済学部2年)	津田 千渚	(経済学部2年)
	鳥谷 麻琴	(経済学部2年)	中岡 莓愛	(経済学部2年)
	長岡 来実	(経済学部2年)	村上 七海	(経済学部2年)
	岡本 姫依	(農学部1年)	片山 ひな	(農学部1年)
	大地 唯那	(経済学部1年)	日笠 愛美	(経済学部1年)
	平野 瑠美	(経済学部1年)	山本 彩楓	(創造工学部1年)

8. 執行経費内訳書

配 分 予 算 額		195,533円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備 考
マップ(B5二つ折り)	1,200	104	137,451	ラクスル で発行
交通費(9月27日分)	2	1,920	3,840	
交通費(9月29日分)	2	1,020	2,040	
交通費(9月27日分)	2	940	1,880	
交通費(10月20日分)	3	560	1,680	
交通費(11月9日分)	2	960	1,920	
交通費(11月30日分)	2	1,080	2,160	
交通費(12月11日分)	3	660	1,980	
交通費(12月27日分)	2	1,260	2,520	
交通費(2月27日分)	2	1,260	2,520	
交通費(2月27日分)	2	1,480	2,960	
交通費(3月20日分)		2,653	2,653	公用車使用 公用車使用
交通費(3月23日分)		535	535	
合 計			164,139	